

問1 アメリカ合衆国の小麦栽培において、比較的温暖な地域では秋に種をまき翌年夏に収穫する「冬小麦」、寒さの厳しい北部では春に種をまき秋に収穫する「春小麦」というように、地域の気候に合わせて作り分けが行われています。このように、それぞれの地域の自然条件に応じた農作物を栽培することを何といいますか。 (2021年 長野県公立入試 類似)

1. モノカルチャー 2. 施設園芸農業 3. 等高線耕作 4. 適地適作

問2 地方自治は、住民が自分たちの地域の政治に直接参加する機会が多く、民主主義の仕組みを学び、実践する場となることから、ある言葉で表現されます。イギリスの政治学者ブライスが提唱した、この考え方を表す言葉として適切なものはどれですか。 (2017年 長野県公立入試 類似)

1. 多数決の訓練場 2. 民主主義の学校 3. 教育の地方分権 4. 議会政治の出発点

問3 明治時代の政治の動きをまとめた資料において、明治政府による藩閥政治を批判し、国民が政治に参加する権利を求めて全国に広がった政治・社会運動について述べられています。この運動が政府に対して強く求めた内容の組み合わせとして、最も適切なものはどれですか。 (2018年 長野県公立入試 類似)

1. 国会の開設や憲法の制定 2. 殖産興業や地租改正 3. 廃藩置県や版籍奉還 4. 治外法権の撤廃や関税自主権の回復

問4 アジア州の区分において、大陸の南東部に位置し、多くの島々や半島からなる地域があります。この地域に分類される、インドネシアやタイなどの国々が含まれる地域名称として正しいものを次の中から選びなさい。 (2021年 長野県公立入試 類似)

1. 中央アジア 2. 東アジア 3. 南アジア 4. 東南アジア

問5 市場経済において、商品の価格が一定であるにもかかわらず、消費者がその商品を「買おうとする量」が増大する直接的な要因として、最も適切なものはどれか。 (2020年 長野県公立入試 類似)

1. 商品の品質が向上し、消費者の安心感が高まったため 2. 企業の生産コストが低下し、市場への供給が容易になったため 3. 政府が独占禁止法を適用し、企業間の競争を促したため 4. 原材料の不足により、将来的な値上がりが予想されたため

問6 ある野菜の流通状況を調査したところ、4月から5月にかけて産地からの入荷量が急増した際、市場での取引価格が大幅に下落していることが確認されました。このような価格変動が起こる背景にある、供給と価格の関係についての説明として最も適切なものはどれですか。 (2016年 長野県公立入試 類似)

1. 供給量が増えることで商品が手に入りやすくなり、買い手が高い価格を支払う必要がなくなるため、価格が下落する 2. 供給量が増えると、それに応じて消費者の需要も必ず同じ割合で増加するため、価格は常に一定に保たれる 3. 供給量が増えることで生産者の利益が最大化されるため、消費者に還元する目的で価格が引き下げられる 4. 入荷量が多い時期は、政府が物価を安定させるために介入し、強制的に価格を引き下げる仕組みになっている

問7 東北地方において地熱発電が盛んに行われている理由として、地理的な背景を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2026年 長野県公立入試 類似)

1. 偏西風が安定して吹くため、大規模な風車を設置して効率的に発電できるため 2. 北上川や最上川などの急流河川が多く、水流の落差を利用した発電に適しているため 3. 三陸海岸などのリアス海岸において、潮の満ち引きによるエネルギーを活用できるため 4. 奥羽山脈などに火山が多く分布し、地下の熱エネルギーを利用しやすいため

問8 日本の一般会計予算において、所得税や消費税といった税金などの「歳入」と、社会保障や公共事業などの「歳出」の関係について述べた文として、正しいものはどれか選びなさい。 (2015年 長野県公立入試 類似)

1. 政府が国民生活のために行う支出は、銀行が企業に資金を貸し出す金融活動と同じものである。 2. 歳入における税収が歳出の総額を常に上回っているため、国が借金をする必要はない。 3. 歳入には税収だけでなく、将来の世代が返済する義務を負う借金である公債金が含まれることがある。 4. 歳出のほとんどは公共事業費で占められており、医療や年金などの社会保障費は含まれない。

問9 日本の古代における都の変遷を整理した資料において、694年の藤原京、710年の平城京、784年の長岡京に続いて、794年に新しく定められた都の名称を答えなさい。 (2024年 長野県公立入試 類似)

1. 難波京 2. 平安京 3. 紫香楽宮 4. 恭仁京

問10 三重県は近畿地方の府県の中でも製造業出荷額等が突出して多いという特徴があります。このように工業が高度に発達した背景として、伊勢湾沿岸の四日市市を中心に形成された産業の仕組みについて述べたものとして、最も適切なものはどれですか。 (2015年 長野県公立入試 類似)

1. 豊富な木材資源を利用した、製紙・パルプ工業が内陸部で発展した。 2. 大規模な石油化学コンビナートが形成され、重化学工業が発展した。 3. 古くからの歴史的景観を活かし、伝統的な繊維工業のみに特化した。 4. 広大な平野を利用して、大規模な稲作と農機具製造が結びついた。

問11 九州地方などの温暖な地域では、夏の稲作が終わった後の水田において、冬から春にかけて小麦などが栽培されることがあります。このような土地利用の形態を説明したものとして、最も適切なものはどれか選びなさい。 (2021年 長野県公立入試 類似)

1. 冬の温暖な気候を活かし、同じ土地で異なる作物を育てる二毛作 2. 異なる種類の作物を数年ごとに定期的に植え替える輪作 3. 成長の早い品種を利用し、同じ土地で年に2回稲を育てる二期作 4. 出荷時期を遅らせるために、高冷地の涼しい気候を利用する抑制栽培

問12 近年の関東地方において、長年続いてきた都心への一極集中に対し、一部で見られる「分散」の動きの背景として、最も関係が深い事柄を選びなさい。 (2022年 長野県公立入試 類似)

1. 情報通信技術の活用によるテレワークの普及 2. 交通網の遮断による物理的な移動の制限 3. 都心部における大規模な工業団地の造成 4. 農業における労働環境の悪化と離農者の増加

問13 江戸幕府が、スペインやポルトガルなどの国々の来航を禁止する一方で、オランダに対しては長崎の出島での貿易を継続させた理由として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 長野県公立入試 類似)

1. オランダが唯一、日本国内でのキリスト教の布教を認める条約を結んだから。 2. オランダはキリスト教の布教を目的とせず、貿易の利益を優先したから。 3. オランダが当時、世界最大の茶の生産国であり、日本が輸入を必要としたから。 4. オランダが幕府に対して、鎖国体制を維持するための軍艦を無償で提供したから。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 適地適作	広大な国土を持つアメリカ合衆国では、地域ごとに気温や降水量が大きく異なります。そのため、それぞれの環境に適した作物を専門的に栽培する「適地適作」という方式がとられており、小麦以外にも酪農、コーン、綿花などの地域（農業地帯）が明確に分かれているのが特徴です。
問2	答え 2 民主主義の学校	地方自治は、私たちの生活に密着した課題を扱うため、住民が直接、政治的な判断に関わる機会が多くあります。このように身近な政治を通じて住民が主権者としての意識を高め、民主主義のルールや仕組みを学ぶことができるため、この言葉が使われるようになりました。
問3	答え 1 国会の開設や憲法の制定	板垣退助らによる民権議院設立建白書の提出をきっかけに始まったこの運動は、一部の藩の出身者が実権を握る藩閥政治を批判し、議会政治の実現を求めたものです。全国で演説会が開かれたり、各地で憲法の草案（私擬憲法）が作成されたりするなど、日本の近代化における民主化の要求として重要な役割を果たしました。
問4	答え 4 東南アジア	アジア州は広大であるため、位置に基づいた地域区分が行われています。中国や日本が含まれる地域は東アジア、インドが含まれる地域は南アジアと呼ばれます。タイやインドネシアが位置するアジアの南東部は東南アジアと呼ばれ、赤道付近の低緯度地域に広がっています。
問5	答え 1 商品の品質が向上し、消費者の安心感が高まったため	消費者の「買おうとする量（需要量）」は価格だけでなく、商品の魅力や信頼性によっても変化します。品質が向上したり、安全性が確認されて安心感が高まったりすると、同じ価格であっても「購入したい」と考える消費者が増えるため、需要量が増大する要因となります。
問6	答え 1 供給量が増えることで商品が手に入りやすくなり、買い手が高い価格を支払う必要がなくなるため、価格が下落する	きゅうりなどの農産物において、旬の時期に入荷量（供給量）が増えると、市場には商品が溢れる状態になります。買い手（消費者や小売店）にとっては入手が容易になるため、高い価格を出してまで競り合う必要がなくなり、結果として価格が下がります。このように、供給量の変動は市場価格を決定する重要な要因となります。
問7	答え 4 奥羽山脈などに火山が多く分布し、地下の熱エネルギーを利用しやすいため	地熱発電の設置条件は「火山の存在」が不可欠です。東北地方は奥羽山脈を中心に火山帯が形成されているため、地下の熱を利用する発電所の建設に適しています。他の選択肢は、風力・水力・潮汐発電の説明であり、地熱発電の地理的要因とは異なります。
問8	答え 3 歳入には税収だけでなく、将来の世代が返済する義務を負う借金である公債金が含まれることがある。	国の予算である一般会計では、税収だけでは支出（歳出）をまかないきれない場合、国債を発行して「公債金」という形で借金をして収入を補っています。現在の日本では、高齢化などの影響で社会保障関係費が増大しており、歳入の大きな割合を公債金が占めていることが課題となっています。
問9	答え 2 平安京	794年に桓武天皇によって建設された平安京は、中国（唐）の都である長安をモデルにした計画都市でした。この都は、明治時代に東京に都が移るまで、千年以上もの間、日本の都としての役割を担い続けることとなります。
問10	答え 2 大規模な石油化学コンビナートが形成され、重化学工業が発展した。	三重県の工業を支えている大きな要因は、四日市市を中心とした中京工業地帯の広がりです。戦後、日本で最初に大規模な石油化学コンビナートが建設されたことで、石油化学や機械工業などの重化学工業が飛躍的に発展し、現在の高い製造業出荷額等につながっています。
問11	答え 1 冬の温暖な気候を活かし、同じ土地で異なる作物を育てる二毛作	九州地方の農業について記された資料において、冬でも温暖な気候を利用して稲作の後に小麦が栽培されている状況は「二毛作」に該当します。水田を1年中有効活用する工夫であり、米以外の作物を組み合わせる点が特徴です。
問12	答え 1 情報通信技術の活用によるテレワークの普及	長らく東京都心部への人口集中が続いてきましたが、近年はインターネット環境の整備に伴い、職場に出勤せず自宅などで仕事をするテレワークが普及しました。これにより、必ずしも都心に住む必要がなくなったため、住居を郊外や自然豊かな地方へ移す「分散」の動きが見られるようになっています。これは一極集中の緩和につながる新しい変化として注目されています。
問13	答え 2 オランダはキリスト教の布教を目的とせず、貿易の利益を優先したから。	幕府にとって最大の懸念は、キリスト教の布教が封建的な支配体制を揺るがすことでした。スペインやポルトガルが布教と貿易を一体化させていたのに対し、プロテスタント諸国であったオランダは布教を強行せず、商業活動に専念する姿勢を示したため、信頼を得て貿易が許可されました。